

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	070100	TEL	04-2998-9415
事業コード	民間保育園整備事業		子ども未来部子ども政策課			
070101			グループ	施設計画グループ		
開始年度 平成 9 年度 → 終了年度 平成 年度						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市子ども・子育て支援事業計画(ところっこ すくすく サポートプラン)			所沢市民間保育園施設・設備整備費補助金交付要綱
	関連・類似事業				
	総合計画の体系	章 第3章 健康・福祉	節 第2節 子ども支援	基本方針	子どもの育成支援の充実
事業開始の背景	核家族化をはじめとする家族形態の変化や女性の社会進出等により、保育需要が増大かつ多様化したことに伴って、待機児童が発生している。待機児童解消のために、従来から実施している民間保育園の新設等に対する施設整備の補助により、受入れ枠の拡大を図るものである。				

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	待機児童を解消するため、社会福祉法人や学校法人が実施する民間保育園の整備等に対し、対象経費の一部を補助することにより、受入れ枠を拡大し、安定した保育の提供を図る。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	5,490 人
	認可保育園の入所を希望する者			平成 27 年度	5,613 人
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>●民間保育園の新設に対する施設整備費の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所沢市子ども・子育て支援事業計画(ところっこ すくすく サポートプラン)に基づき、平成27年度中に200人分の受入れ枠を確保する。 ・社会福祉法人や学校法人が整備する民間保育園の工事費等の事業費の一部を市・県が補助する。(市・県の補助割合:4分の3) ・地区別の受入れ枠と保育需要を推計し、不足している地区や見込まれる地区に設置を図る。 				

④経費	＜会計種別＞	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		310,163	320,556	0
	決算(見込み含む)		308,795	309,650	
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	1.20 人	10,465	1.20 人	10,392
	事業費合計		319,260	320,042	
財源内訳	一般財源	44,776	44,797	0	
	国・県支出金	274,484	275,245	0	
	その他()				

※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	活動実績	民間保育所の新設により受入れ枠の増加をした施設数	園	3	2	0	0
		民間保育所の新設により増加した定員数	人	180	200	0	0
		受入れ人数	認可保育園の受入れ人数(各年3月1日時点)	人	5,046	5,466	5,466

⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	待機児童数	人	目標値	15	10	8	0
				実績	19	11	<input type="checkbox"/> 拡大図る <input checked="" type="checkbox"/> 縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	79	91	↑どちらかをチェックしてください		

⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	新年度からの開園が決まっており、スケジュール管理が求められることから、補助金交付手続きや要綱改正、認可・確認申請を円滑に行い、工程の進捗管理の徹底を図ったことにより、新年度からの開園と認可に無事こぎつけることができた。	待機児童数は年々減少しており、実績数と目標値はほぼ同値となった。

⑧評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	今後は、待機児童数等の推移をみながら、既存の教育・保育施設からの認定こども園への移行等により、引き続き受入れ枠を確保していく。		
	今方向性の	次年度予算	理由	既存の教育・保育施設からの認定こども園への移行に伴い、増改築等の施設整備費の補助を行うため。		
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性			
評価	既存の教育・保育施設(幼稚園や保育所)からの認定こども園への移行に向けた取り組み(認可・確認)		今後は、待機児童数等の推移をみながら、既存の教育・保育施設(幼稚園や保育所)からの認定こども園への移行等により、引き続き受入れ枠を確保していく。			
評価日	H28.8.12	評価者氏名	子ども政策課長 岸 克実			

⑨環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙の使用	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無